

デザイン研究法(人間空間デザイン)

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：講義+演習

単 位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：地域の自然環境と人文社会環境について、既存資料調査やフィールドワークをおこない、その結果を解析し地域の現状把握と課題を抽出する。さらにこれらを基に地域課題に対するコンセプトを立て、地域計画の方針を提案する。

■**到達目標**：①地域環境の調査を遂行することができる。
②データの分析方法を理解し、遂行することができる。
③地域の課題を抽出し、地域計画につなげることができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎矢部 和夫・中原 宏・石井 雅博

■**授業計画・内容**：

- 第1回 研究倫理【石井】
- 第2回 地域論【中原】
- 第3回 地域調査法と地域分析法の基礎【中原】
- 第4回 地域構造分析〈演習〉【中原】
- 第5回 システムとモデル【中原】
- 第6回 相関分析と回帰分析〈演習〉【中原】
- 第7回 多変量解析法1（現象を多次的に捉える）【中原】
- 第8回 多変量解析法2（クラスター分析：類型化する）〈演習〉【中原】
- 第9回 地域の地理情報の抽出【矢部】
- 第10回 地域景観調査【矢部】
- 第11回 中間発表【矢部】
- 第12回 住民ヒアリング【矢部】
- 第13回 問題点の抽出とマスタープランの作成1【矢部】
- 第14回 問題点の抽出とマスタープランの作成2【矢部】
- 第15回 プレゼンテーション【矢部】

■**教科書**：授業時にハンドアウトを配付します。

■**参考文献**：授業時に適宜指示します。

■**成績評価基準と方法**：3分の1を超えて欠席すると単位が出ません。評価は授業への参加状況（受講態度を含めます）20%、小テスト・授業内レポート30%、課題50%等により総合的に判断します。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート	◎	○	◎	授業内容に対する理解度	30
授業態度	◎	○	○	積極的な姿勢	20
発表					
作品	○	◎	◎	課題提出物の充実度	50
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：他科目の課題や作品制作のための調査・分析手法のみならず、将来の研究を進める上で有益な手法を学びます。